



GIFA/METEC/THERMPROCESS/NEWCAST 2015 ファイナルレポート

国際性の高い来場者



5日間の会期で同時開催された鋳造や金属加工に関する4つの専門メッセ（GIFA / METEC / THERMPROCESS / NEWCAST = 略称 GMTN）は6月20日、デュッセルドルフで終了した。4年に一度の同展の来場者は120カ国から78,000人を記録した。前回比で海外来場者の割合が増加し、56%を占めた（前回2011：54%）。国別の来場者の

上位は、インド、イタリア、トルコ、フランス、中国の順となる。特に注目されるべき点は決定権を持つマネジメントクラスからの専門家の参加者数だ。来場者の3分の2は、中間管理職・上級管理職であった。また、ほとんどのビジターが今回のメッセに満足（98%）と回答し、遠路デュッセルドルフへの訪問を評価した。

出展者数が過去最高を記録して開催・日本参加企業が47社

出展者は、過去最多となる2,214の企業が出展参加した（うち51%はドイツ以外）。総展示面積は前回よりもさらに拡大し、86,000平米に達した。

この結果により GMTN が、業界における先導的なメッセであることが改めて確認された。今回日本からの直接出展は46社であった（日本からの直接出展社リストは[こちら](#)からご覧ください）。THERMPROCESS 出展に関し、株式会社 IHI 機械システムが「今回初出展、世界各国からの来場者があり、新しいビジネスにつながる機会があり、成功と言える」とコメントした。NEWCAST で、The Leading Japan Foundries の名前のもとでグループ出展した、(株) 明石合銅は「世界の鋳物屋さんやバイヤーさんと直接お話しができて非常に勉強になりました。またいくつかの新規開拓候補が見つかった」とコメント。GIFA に継続出

展した（株）ヒシヌママシナリーは「今回初めて機械を出展したことにより、非常に多くの人々が足を止めてくれた。見積もり依頼も多数あり、出展した価値はあったと思う」と評価した。

主催のメッセ・デュッセルドルフ社取締役 **Schaefer** は、「会場は熱気にあふれ、成約件数も多く、メッセ終了後のビジネス見込みが良い、という前向きな話を聞いている。これは、この4つのメッセの構成が業界のニーズに合っていることだ」とコメントしている。出展者は多くのコンタクトが取れたこと、また来場者の中に投資の意欲が見出されたこと、新たに開拓したコンタクトに今後のビジネスが期待できることを報告している。

MDJ は日本人来場者のためにハイライトツアーを実施

日本からは日本工業炉協会（＝写真）、日本ダイカスト協会や花王クエーカー社などがツアーを組み、総勢 600 名を越える業界関係者が GMTN を視察した。広大な会場で日本からの来場者にメッセ訪問の成果を最大限に上げていただくため、メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンでは会期中の 6 月 18 日、製造業界で



話題となっている第4次産業革命「Industry 4.0」をテーマにハイライト会場巡回ツアーを実施した。同ツアーは GMTN の後援団体でもあるドイツ機械工業連盟 (VDMA) より厳選されたメンバー出展企業を訪問（訪問企業：SMS Siemag



AG、Primetals Technologies、Kurtz Ersa、ANDRITZ METALS Tenova LOI、Schunk Group)、各社からプレゼンテーションを受けるもので、参加枠 20 名が早期の内に完売となり、多数の参加を断らざるを得ない状況となっていた。

エネルギー効率の省エネルギーが重要なテーマ

今回、4つのメッセの共通点として注目の高いテーマは、エネルギー効率の省エネルギー化だった。金属業界でもますます重要なテーマであり、投資決定に重要なポイントとなる。前回 2011 に初めて行なわれ、好評を博したガイドツアー **ecoMetals** は今回も実施され、グリーン製造方法や技術を展示する出展ブースを回り、プレゼンが行われた。

次回の GIFA/METEC/THERMPROCESS/NEWCAST は 2019 年・夏、デュッセルドルフで開催予定。

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：ユング

〒104-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959

mdj@messe-dus.co.jp

www.messe-dus.co.jp